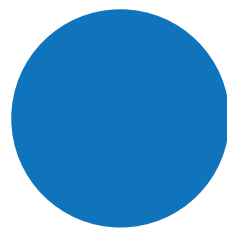
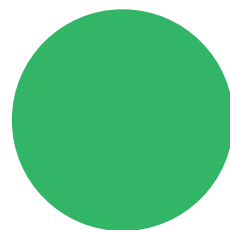


名古屋都市センターは
みなさんのまちづくり活動を支援します。



【お問い合わせ先】

公益財団法人 名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

住所:名古屋市中区金山町一丁目一番一号 金山南ビル内
TEL:052-678-2214



名古屋都市センター
ホームページ

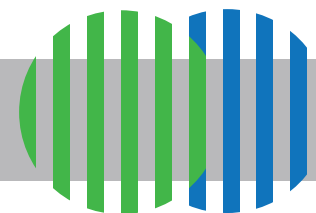
令和7年4月発行

名古屋都市センター
地域まちづくり支援制度

活動助成 Report Book

2024

レポートブック



まちの物語をはぐくむ
まちづくり団体のみなさんをご紹介します

まちの新しい景色。 まちで生まれる人のつながり。



駅のそば・住宅地・駐車場・公園・道路……名古屋のまちのいたるところ。
あなたの隣でも、新たなまちの物語が生まれています。
そんな物語を生み育む、みなさんを応援したい。

名古屋都市センターは「地域まちづくり支援制度」で、あなたのまちづくり活動を支援します。



「地域まちづくり」って？

地域において、地域住民や多様な主体（自治会・NPO・商店街・企業など）が、自らまちづくり活動に取り組み、まちの魅力づくり、公共的な空間の利活用、住環境の維持、まちづくり構想やルールづくりなど、まちの環境や空間をつくる・つかう・まもることで、地域の価値を向上させるための取り組みです。



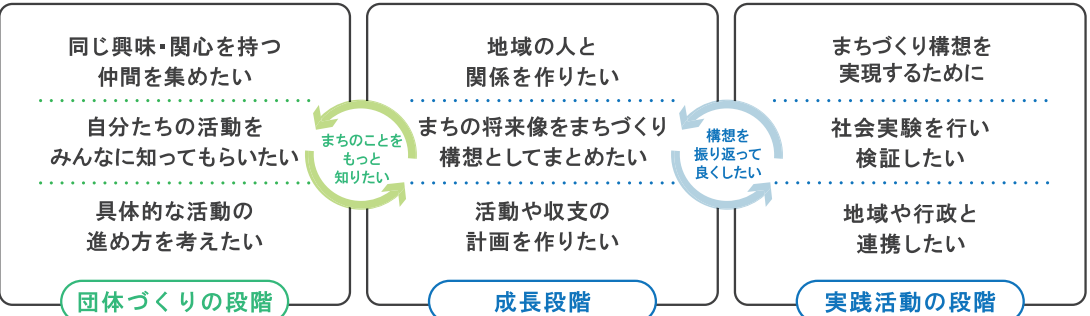
地域まちづくり支援制度

地域まちづくり支援制度を活用することで、こんなサポートを受けられます！

【活動助成】

まちづくりに必要な活動にかかる経費の一部について助成しています。

詳細は次ページ



スタートアップ助成

これからまちづくり活動を始めようとするグループや、活動初期の団体の活動を応援します。仲間づくりや、まちづくり活動の最初の一歩にぴったりの助成です。

成長支援・実践活動助成

活動の周知や公共空間を活用したチャレンジ的な活動、組織基盤整備に関する活動。また、まちづくりの方針・まちづくり構想の策定、その実現に向けた活動等を応援します。



【まちづくり講座や交流会】

まちづくりに取り組む団体や個人に寄り添いながら、まちづくりのための人材育成やスキルアップを目的とした講座や講演会、他団体やまちづくり関係者との交流会、毎月開催の交流の場「未来茶輪（ミライカフェ）」などを通じたサポートを行います。

【アドバイザー派遣】

団体の成長段階に合わせて、まちづくりの専門家から、活動内容などについて、専門的知識や経験を活かしたアドバイスを受けることができます。

※派遣に費用はかかりません



活動助成の種類

名古屋都市センターでは、名古屋市内各地での地域まちづくりを推進するため、その取り組みを行うまちづくり団体を募集し、活動に必要な費用の一部を助成します。活動の段階や内容に応じて、大きく分けて下記の2つの助成メニューを用意しています。

スタートアップ助成

名古屋市内において、これからまちづくり活動を始めるグループや、活動初期の団体の活動を応援します。仲間づくりや、まちづくり活動の最初の一步にぴったりの助成です。

対象 活動初期のまちづくり団体またはこれから活動を開始するグループ

5万円 助成1回目

10万円 助成2・3回目

地域まちづくり活動団体って？

地域まちづくりに取り組む団体と名古屋都市センターや名古屋市が継続的な関係をつくることを目的に、要件を満たす団体を名古屋市が登録します。

成長支援・実践活動助成の申請には、登録が必須となります。

登録にはどうすればいいの？

名古屋都市センターへご相談ください。登録の審査には、1～2週間程度かかります。

成長支援・実践活動助成

名古屋市内において、活動の周知や公共空間を活用したチャレンジ的な活動、組織基盤整備に関する活動、まちづくりの方針・まちづくり構想の策定、また、その実現に向けた活動等を応援します。

対象 地域まちづくりを目的とした活動実績がある団体

10万円 PR助成
活動地域内の地域住民等に、活動の目的や内容をPRするために実施する活動に助成

10万円 スモールスタート助成 ※
地域のよりよい環境づくりや価値向上のために行う公共空間等を活用したチャレンジ的な活動に助成

30万円 組織基盤強化助成
組織基盤の整備に関する活動に助成

50万円 構想づくり活動助成
まちづくり構想等を作成するための活動やそのためのコンサルタントへの委託に助成

50万円 事業化検討助成
まちのルールづくりや都市施設の活用計画等を作成するためのコンサルタントへの委託に助成

50万円 実践活動助成
まちづくり構想等の実現のために実践する活動に助成

※「地域まちづくり活動団体」（名古屋市による登録を受けている団体）であることが助成の条件です。

どんな活動があるの？

例えば、下記のような活動を支援しています。

- ・同じ興味・関心を持つ仲間を集めたい
- ・地域の人と関係を作りたい
- ・社会実験を行い検証したい
- ・自分たちの活動をみんなに知ってもらいたい
- ・活動や収支の計画を作りたい
- ・地域や行政と連携したい
- ・具体的な活動の進め方を考えたい
- ・まちの将来像をまちづくり構想としてまとめたい



みんなでおさんぽしながらゴミ拾い

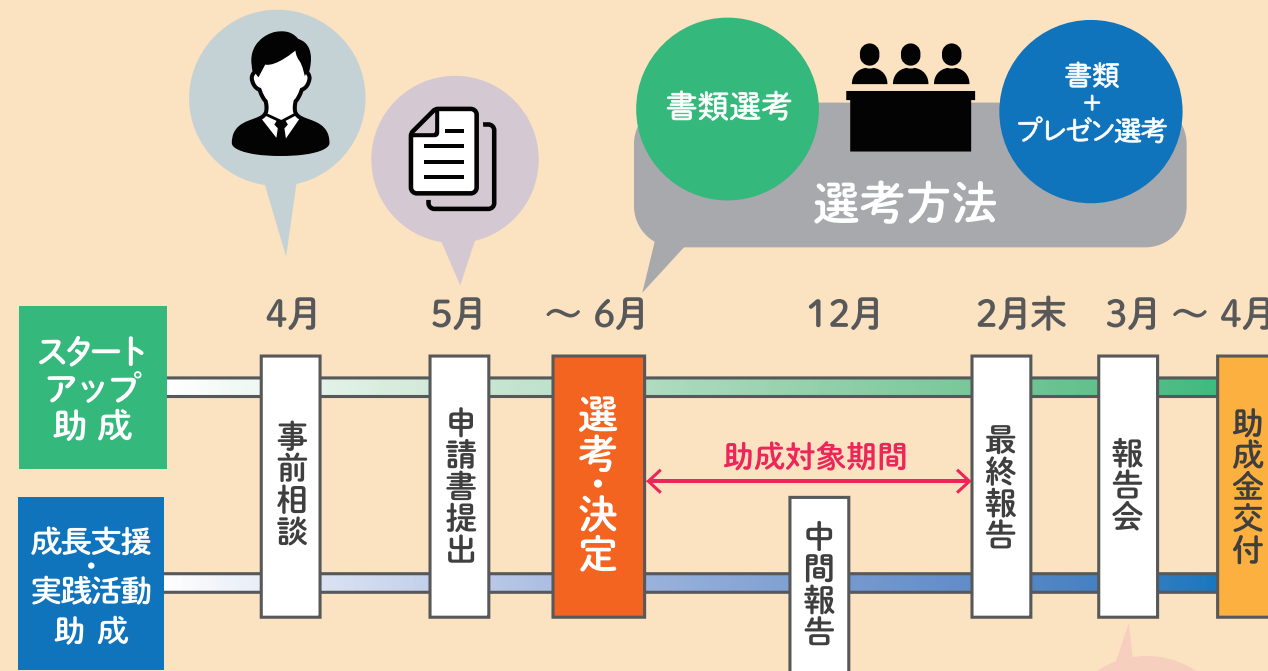


地域住民と連携しまちづくり構想を策定

申請から交付までのスケジュール

それぞれの助成について、下記の流れで進んでいきます。みなさまのお早目のご相談をお待ちしております。

各助成の最新情報は
こちら



※申請内容や過去の助成状況、団体登録の有無等により申請までの流れが異なります。
※事前相談や申請などの受付の前には、事前予約が必要となります。
※各助成の流れや内容は変更になる可能性があります。

報告会の
様子は
P17,18へ

令和6年度助成団体 活動地域図

スタートアップ助成

助成1回目

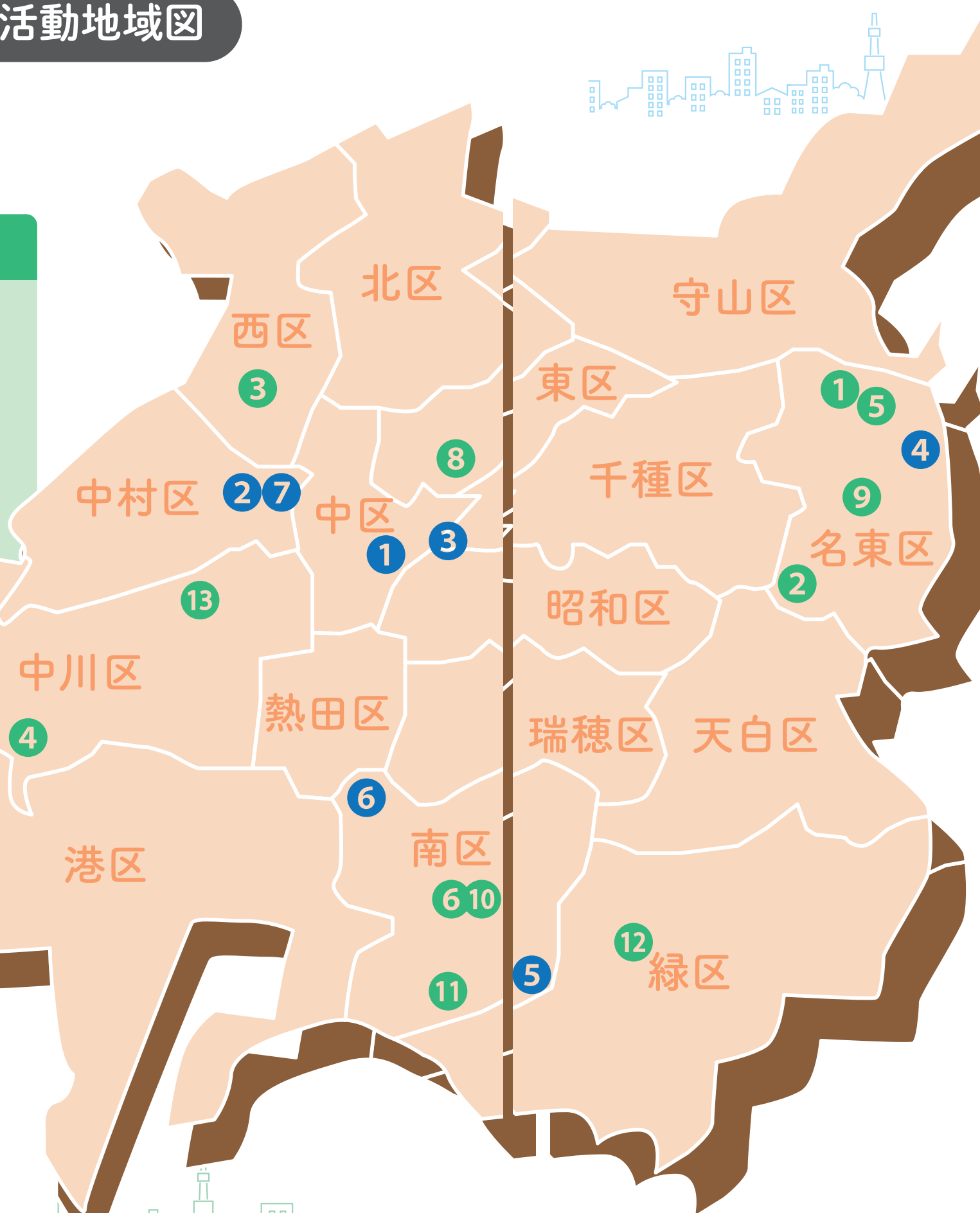
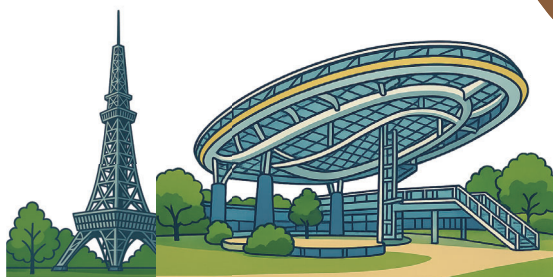
- ① 私設図書館もん
- ② 名東プレーパークの会
- ③ こだまプラス
- ④ いしきマルシェ実行委員会
- ⑤ ちいきのいま aimaima
- ⑥ かさでらのまち編集室

助成2回目

- ⑦ 上志段味ゆるさぽ
- ⑧ マチゾラ シンサカエマチ
- ⑨ かみやしろ居場所づくり同好会
- ⑩ かさでら図書館運営委員会!

助成3回目

- ⑪ ふれあいガーデンクラブ
- ⑫ フェーズフリーな防災企画チーム
(平時と有事をワンセット)
- ⑬ ほうせいだんちーず



成長支援・実践活動助成

スモールスタート助成(現:トライアル活動助成)

- ① 特定非営利活動法人
市民まちづくり風の会

組織基盤強化助成

- ② 名駅四丁目まちづくり協議会

構想づくり活動助成

- ③ 鶴舞・千種エリアマネジメント協議会
- ④ 藤が丘まちづくり協議会
- ⑤ 星崎学区連絡協議会
- ⑥ 明治・内田橋堀川まちづくり協議会
- ⑦ 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

スタートアップ助成【1回目】

1 私設図書館もん

名東区:延珠町

【団体情報】
ホームページ



心身ともに休まる場づくりで人、もの、ことを繋げます

活動内容

心身ともに安らげる場を通して、人、もの、ことがつながる場づくりをしています。来館者がくつろげるようにドリンクや焼菓子も提供。2階はレンタルスペースとしても活用でき、イベントや勉強会の開催なども。また、不登校児支援の一環として「じぶんのたね」という学校活動も実施しております。



団体からのメッセージ

もんは、子どもから大人まで気軽に集まり、人、もの、ことが繋がる場をつくっています。地域のつながりが深まることで、困ったときに頼れる人が増え、助け合える関係が築かれます。「顔の見える関係」を大切にしながら、これからも学びと交流の場を広げていきます。これからも、地域に貢献していきます！



スタートアップ助成【1回目】

2 名東プレーパークの会

名東区:藤巻町、明が丘公園

【団体情報】
Instagram



自分の責任で自由に遊ぶ！
ケガと弁当は自分持ち！

活動内容

名東区藤巻町にある荒池ひろばにてプレーパーク「子どもが自分の責任で自分で遊ぶ」場所を月1回開催しています。夏は水遊び、春・秋・冬は木工や絵の具、砂遊び、そり遊びなどで遊んでいます。番外編として明が丘公園で焚き火会を開催しました。また、NPO法人ゆめ・まち・ネットの渡部達也さん、美樹さんによる講演会を生涯学習センターにて開催しました。



団体からのメッセージ

現代は、子どもの遊ぶ場所も時間も仲間も少ない時代です。子どもの育ちのために、地域住民を巻き込みながら、「遊びの大切さ」「子どもの居場所づくりの大切さ」を伝えていきたいと考えています。子どもが思いっきり遊ぶ環境を整え、活動を通して子どもの育ちを支える大人を増やしていきます。



スタートアップ助成【1回目】

3 こだまプラス

西区:児玉学区

【団体情報】
kodamacho.plus@gmail.com



こだまの森の再生

活動内容

小学校の中庭であるこだまの森という場を中心とした幅広いコミュニティの形成と、こだまの森の整備による美しく住みよいまちづくりを目指して活動しています。2024年度は、10月にこだまの森などでメンバー各自が栽培した花の種や苗を地域の方にお配りするイベントを実施しました。



団体からのメッセージ

美しく住みよい町・児玉を地域の方に実感してもらうこと、また、活動の拠点となっているこだまの森を引き続き整備を続け、より地域の方に親しみをもっていただき、多くの方にまちづくり活動を見守り、参加してもらえよう、活動を継続していきたいと思っています。



スタートアップ助成【1回目】

4 いしきマルシェ実行委員会

中川区:正色学区

【団体情報】
Instagram



多世代交流・みんなが活躍・
地域にもっと愛着を

活動内容

私たちの町 下之一色町は、昔は名古屋と言われて栄えた所でしたが、今ではコンビニもなく、日々の買い物にも苦労するような所です。そんな下之一色を盛り上げようと、約10人のメンバーで年4回のマルシェを開いています。

- ・町のあちこちでマルシェ開催。自宅近から高齢者も参加しやすいと喜ばれました。
- ・地域の方に出店をお願いし、近くで活躍できる場所を作っています。
- ・ステージも開催し発表の場をつくり交流の活性化を目指します。



←第3回の様子

団体からのメッセージ

来場者アンケートでは遊ぶ場所ができて嬉しい、また開催して欲しい等、励みになる言葉をいただいた反面、要望も多くいただいています。メンバーが多くないので、時々苦労はありますが、地域に貢献できた手ごたえも感じています。この1年支えてくださった皆様への感謝の気持ちをまた来年につなげます！



↑助成金だけに頼らない運営を目指し、ジュース販売もしています。



スタートアップ助成【1回目】

5 | ちいきのいま aimaima

名東区:引山学区

【団体情報】

Instagram



地域共生リビング みんなの居間作り!

活動内容

子ども達を真ん中に、だれでも心地よく過ごせる居場所を、地域に作りたいと発足した「ちいきのいま aimaima」。食材を持ち寄り、味噌汁やポトフ、そうめんなど、簡単に作れる料理をみんなで作り、一緒に食べる「ミナオカッテ」。自分のやりたい事、一人だと一歩踏み出せない事を一緒にやってみる「ラフ案」。近くの公園で、aimaimaを知ってもらえるように、絵本や遊び道具を持って出かけする「出張aimaima」。



団体からのメッセージ

aimaima(あいまいま)は、私(I)を大切にできる、私の(my)居間(いま)を地域に作ろうと活動しています。訪れる人それぞれが思い思いに過ごし、ホッしたり、元気になったりする中で、困った時には助け合えるような地域の繋がりが作りができる場所として、毎週月曜日にオープンしてきました。ご近所に住む人から、学区を超えた地域の人まで、遠からず近からず、いろんな距離感の人が混ざり合う中で、普段の悩みや困りごとをぽろっと溢せる居場所が、地域に一つあるといいなと思います。



スタートアップ助成【1回目】

6 | かさでらのまち編集室

南区:笠寺町周辺

【団体情報】

Instagram



“まちから集めて、まちを編む”

楽しく、見映えよく、かさでらの今をお伝えします。

活動内容

マチ・ヒト・コトを編む、フリーペーパー「かさなる」を創刊。笠寺のできごと、商店街の歴史、住んでいる人の思い……住人も知らないまちの魅力を、「人」に焦点を当てて描く。そんな地域フリーペーパーを創刊しました。内外を問わず、まちの魅力が伝わる「編集」に努めました。



団体からのメッセージ

「かさなる」は今後も年2号発行の予定。まちから集めたネタを活かせばアウトプットは無限大。イベント開催やお土産開発など、様々なかたちで「伝わるテキスト:デザイン:写真」に挑戦します。

まち歩きイベントを開催

カメラを片手に面白いものを探すお散歩イベントを開催し、「レトロなフォトスポット」や「気になる看板」などを発見!見つけたスポットは、笠寺観音商店街さんと編集室が作る新しい地域マップに掲載させていただきました。



スタートアップ助成【2回目】

7 | 上志段味ゆるさば

守山区:上志段味学区周辺

【団体情報】

←Instagram

ホームページ→



ゆるさばオヤジ部『子どもと一緒に全力で遊ぼう』

活動内容

ここ数年で転入してきた世帯が多く、3～40代が人口の4割を占める地域で、父親の地域活動への参加を促すための活動をしています。今年度は『水ふうせんバトルロワイヤル』『ダンボールの窯でピザを焼こう』という2つの助成対象イベントと、『親子ドッジビー大会』を開催し、たくさんの方に参加していただきました。オヤジ部メンバーも活動当初の5名から13名に増えました。



団体からのメッセージ

地域での若い男性同士の繋がりは希薄になりがちです。子どもと一緒にイベントに参加することでゆるい繋がりを増やし、地域への関心を高めてほしいと思います。顔の見える地域は防犯防災力も高まります。一緒に参加する子どもたちが、『将来、この場所に戻りたい!』と思ってくれる魅力ある地域になるよう活動していきます。今後、更なる参加者の拡大と活動の継続性を高めるため、地域団体や地元企業との連携を深めていきます。



スタートアップ助成【2回目】

8 | マチゾラシンサカエマチ

東区:新栄町地区

【団体情報】

Instagram

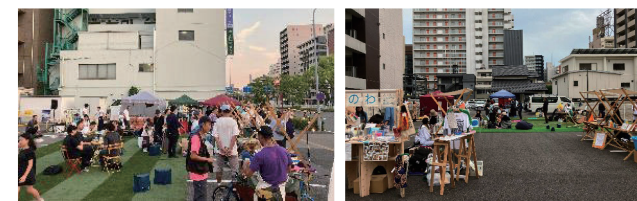
machizora_shinsakaemachi@googlegroups.com
(事務局:澤井、森定、松尾)

公共空間(まちの空地)を活用した新たな居場所づくり ～こんな新栄町エリアになったらいいな～

活動内容

新栄町を魅力あふれる賑わい拠点にすることを目指し、新栄町エリアの公共空間(民間活用用地を含む)を活用し、住む人、働く人、訪れる人の交流や滞在が生まれるまちの居場所(マチゾラ)づくりを実施した。

主な活動として、地域イベントの継続的・定期的実施と、自走可能な組織に向けた検討を行った。



団体からのメッセージ

マチゾラシンサカエマチは、新栄町エリアの公共空間(まちの空地)を活用し、滞在、回遊、交流が生まれる新たな居場所づくりに取り組んでいます。活動目的に賛同、協力いただける方と一緒に、マチゾラを広げていきたいと考えています。出店してみたい!この場所を使ってほしい!什器を借りたい!等ございましたら、お気軽にご連絡ください。



スタートアップ助成【2回目】

9 | かみやしろ居場所づくり同好会

名東区：上社地区

上社に住む人、働く人、通る人と共に、
「ここにいたくなるまち上社」をつくる。

活動内容

主な活動として5月に名東図書館でGarden caféに参加、11月に上社駅でStation café Vol.2を実施しました。Gardencaféでは子連れの参加者が多く集まり、セルフドリンクやリサイクルバックを配り、読み聞かせを楽しむ様子が見られました。Stationcaféは同好会が企画・運営し、14店舗のブースが出店しました。ブースには、飲食系から物販、ワークショップなどが立ちならびました。また、マチゾラシンサカエマチさんから、人工芝、机、椅子、ハンモックなどをお借りし、心地よさを演出することができました。いつもは閑散とした雰囲気の上社駅が、大いに賑わいました。



団体からのメッセージ

イベントや企画に参加してくださった皆様、誠にありがとうございました。対面でのイベントやSNSでの発信、チラシ配布等で多くの方々に我々の活動を知っていただき、新たな人との交流が生まれました。特にStation caféは大きな反響があり、賑やかな雰囲気が良かった、人との交流ができた、との声がありました。今後はStation caféの新たな可能性を模索し、さらなる繋がりを作っていきたいと考えています。これからも、上社に住む人、働く人、通る人に魅力を伝える機会や交流の場を作り、居心地のいい上社のまちづくりを目指していきます。

【団体情報】

Instagram



スタートアップ助成【3回目】

11 | ふれあいガーデンクラブ

南区：名南中学校区

まちに花を咲かそう

活動内容

みどりとうるおいのあるまちをつくるために花を植えよう。このため個人宅・商店・施設などにプランターを置いたり空き地をいかして花壇をつくります。

草花のお世話をとおして、地域の人びとと交流し、つながりを持つ。困ったときには支え合い、暮らしやすいまちをつくれます。



団体からのメッセージ

地域住民の皆さんへ
仲間を募っています。だれでも参加できます。草花のお世話をとおして住民がつながりあえるまちにしていましょ
草花を介してまちづくりに取り組んでいる団体の皆さんへ
花育ての知識の共有や花苗・培養土・肥料などの確保といった取り組みをいっしょにやりませんか

スタートアップ助成【2回目】

10 | かさでら図書館運営委員会!

南区：笠寺町周辺

つなげたい! 人×本×まち

活動内容

地域の名所である笠寺観音の行事に合わせて、古本市や読書会、絵本の読み聞かせなどを開催しています。「一箱本棚オーナー制」を取り入れ、ユニークな本棚オーナーさんたちと共に、誰もが立ち寄ることのできる地域の場を形成しています。イベントの開催・地元高校生とのコラボレーション・「本の交換箱」の設置・本のイベントに出店するなど、活動と集客の充実を図っています。



【古本市】

【絵本の読み聞かせ】



【絵本作家はせがわゆうじさんお話し】

団体からのメッセージ

令和6年度、図書館登録利用者が300名を超え、本棚オーナーさんの登録も延べ120名ほどに増えました。オーナーさんの本棚もたびたび本が入れ替わり、本棚全体の雰囲気もその都度変化しています。毎月様々なイベントを開催し、新しいワークショップを企画したり、地域の皆さんを巻き込んだりしながら、ますます充実した居場所づくりを目指していきます。

【団体情報】

Instagram



スタートアップ助成【3回目】

12 | フェーズフリーな防災企画チーム

(平時と有事をワンセット) 緑区：鳴海地区

日常のまちづくり活動に
非常時の共助けを合わせ織り込む活動

活動内容

・我々のまちづくり活動は、毎月実施する公園の清掃・草刈りを集合の場に、地域の行事に合わせて炊出し訓練を織り込むように準備を進めています。
・地震訓練・子供神輿・左義長祭りの行事に合わせて、炊出し訓練を災害用に実施してきました。
・炊出しは料理を作るだけでなく、弱い人にも平等に提供できる配慮も大事なことを実践で学びました。



団体からのメッセージ

令和6年に起こった能登半島・宮崎沖の地震によって南海トラフ地震への危機意識が高まりました。日常的な地域まちづくり活動に、非常時に役立つ炊出し訓練等を織り込んだ活動を実施中です。炊出し料理には風変わりですが、メキシコ料理のタコスなど食を通じて楽しみながら進めています。フェーズ・フリーの活動は非常に多様に実施できます。草刈り機の自走化や土のう袋栽培や水耕栽培にも挑戦し新たな取り組みも企画中です。

【団体情報】活動は鳴海駅の近くを流れる扇川の周辺で、平時は公園清掃・草刈りと行事で炊出し訓練SNSは準備中

13 ほうせいだんちーズ

中川区：愛知学区豊成団地

ゆるやかで新しい地域コミュニティづくり

活動内容

- つながりの少ない団地で、たのしくゆるやかな地域コミュニティを目指しています。
- ・回覧板代わりのLINE公式アカウント運用
 - ・ゴミ拾いお散歩
 - ・寄付本で運営する「文庫」と「本の日」
 - ・不要なものをつなぐ「リサイクルデー」
 - ・防災訓練等特性を活かした企画を実施中。



↑ ほうせいだんち文庫と本の日

【団体情報】



防災訓練の様子

団体からのメッセージ

日常なお付き合いが少なくても、いざという時に助け合えたり、興味のあることでつながることができたりする「ゆるやかなコミュニティ」が少しずつ育まれています。

1000戸以上がぎゅっと住んでいて、かつ外国ルーツの方が多い、高齢の方も多。この団地の特性を活かしたつながりを地道に広げていきたいと思っています。

← 多言語チラシをポスティング

【団体情報】

Facebook



2 名駅四丁目まちづくり協議会

中村区：名駅四丁目・泥江町エリア

清掃・防災・交流で育むウォーカブルなまち

活動内容

名駅四丁目まちづくり協議会は、地域の歴史と文化を守りながら、安心して誇りあるまちを目指して活動しています。定例会や勉強会を通じたエリアマネジメント、清掃活動による環境美化、防犯・防災対策に力を入れています。他地区と協働のトマト祭り、中村区・中村消防署・学生ボランティアとの防災訓練も企画し、地域のつながりを深めています。また、地域まちづくり支援制度活動助成を活用し、広報ツールを作成して活動の増強にも取り組んでいます。

令和7年度に向けて

名駅四丁目まちづくり協議会は、令和七年度も「誇りと安心のあるウォーカブルなまち」を目指し、都心型コミュニティを強化し活動をさらに充実させていきます。今年は特に、名古屋駅前という地の利を活かし、通勤・通学・買い物などで訪れる「関係人口」を創出し、多様な人々とともにまちづくりを進めることを新たな目標とします。他地域や団体との協働によるイベント企画を継続し、地域の魅力を上げるとともに、会員を増やして活動をより活性化。さらに、近隣の学校との交流を深め、次世代につながるまちづくりの基盤を築きます。名駅四丁目を訪れるすべての人が関わりたくなるまちにするために、皆様とともに新たな一歩を踏み出していきます！



【団体情報】

ホームページ



1 特定非営利活動法人市民まちづくり風の会

中区：富士見橋及びその周辺

葦(ヨシ)の植栽で新堀川を水質浄化

活動内容

名古屋三川の一つである新堀川は、都心を中心を流れ名古屋市の歴史と文化を育んできたが、悪臭が常態化し市民に親しまれる川になっていません。葦は、新堀川の悪臭の要因となっている過栄養（窒素酸化物・リン）を養分として吸収し生育します。その生育した葦を伐採することで、物理的に水中の過栄養を是正していきます。今回の助成で、現在実施している箇所とは別の二カ所目でも同様の葦の植栽エリアの拡大を図り、地域の方にも声掛けして地域住民と一緒に行動することを目標とします。

令和7年度に向けて

今回の助成で、現在実施しているか所とは別の二カ所目でも同様の葦の植栽エリアを拡大しました。来年度以降は、地域の方にも声をかけ、地域住民と一緒に、葦の植栽活動を行っていくとともに、伐採した葦を工作物等に利用することで、地域循環を図るとともに、悪臭で迷惑に感じている地域の人に、新堀川に愛着をもってもらえるようにしていきたいと考えています。

新堀川は汚水が入っているために、作業には慎重を期す必要がありますので、誰でも気軽に参加できるものではありませんが、刈り取った葦を洗浄し、工作物として利用できるようにすることや、PRに参加してもらおう等、地域の巻き込みを図っていきます。



【団体情報】

Facebook



3 鶴舞・千種エリアマネジメント協議会

中区・昭和区・千種区：千種アーススクエアを中心に千石学区、鶴舞公園の周辺地域

CAN PLAY TSURUMAI・CHIKUSA !

活動内容

私たちは、「CAN PLAY TSURUMAI・CHIKUSA!」をコンセプトに、どこでもトライ・乾杯・運動できるまちを目指して活動しています。2024年度は多世代が繋がるウォーカブルな街を目指し、千種アーススクエア周辺で歩行者天国の社会実験をおこないました。鶴舞・千種に波紋が広がるをコンセプトに企画・デザインを展開しています。地面には民有地・道路・公園を横断して波紋を描き、地域や企業それぞれの境界を超えて、魅力が呼応し、波紋のように広がる風景を目指しました。

令和7年度に向けて

2024年度おこなった社会実験をもとに、鶴舞・千種エリアマネジメントビジョンVer.2を作成します。2024年にSTATION Aiが開業したことを踏まえ、千種アーススクエアから活動範囲を拡大し、STATION Aiまでの南北の軸を意識した構想を描きます。また、来年度もツルマイ・チクサ ミズマツリを開催し、ビジョンをもとに社会実験をおこない、エリアマネジメントの効果を検証していきたいと考えています。今後も、社会実験とビジョンの更新を繰り返しながら、「CAN PLAY TSURUMAI・CHIKUSA」の実現に向けて、活動を続けていきます。



【団体情報】

Instagram



藤が丘まちづくり協議会

名東区：藤が丘学区



名古屋の東の玄関から名古屋東部の中心へ

活動内容

1960年代に土地区画整理事業で誕生した藤が丘地区は成立半世紀をへて都市施設の老朽化が進む中、「愛・地球博」を契機とするリノモ沿線開発、ジブリパークの開園によって地区ポテンシャルが大きく高まっています。この高まりを受けて、地区再生、21世紀の地区まちづくりの基本となる「藤が丘まちづくり基本構想」を地区住民の手でつくるべく、学区住民意向調査やワークショップ、地区事業者や行政と連携、協働して構想づくりを進めています。



令和7年度に向けて

令和6年度は2055年を実現最終年次とする「藤が丘まちづくり基本構想」の策定が完了、藤が丘まちづくり基本構想冊子としてまとめることができました。冊子は地元住民、事業者、行政、その他の地区スークホルダーに配布して今後も議論を進めていきます。

令和7年度は、令和6年度のまちづくりプランニングの完了を踏まえ、藤が丘のエリアマネジメントを開始する年と位置づけています。エリアマネジメントの母体となる法人設立に向けて社会実験や住民交流を進めるとともに、地区に関連する複数の大学とのまちづくり連携も含め、具体的なまちづくりアクションの展開を始めます。



星崎学区連絡協議会

南区：星崎学区



防災を切口に、あらゆる主体が活躍するまち

活動内容

『地区防災計画』の策定を通じ、地域のあらゆる主体が参加しそれぞれが顔の見える関係を構築することこそが、一人の犠牲者も出さない、災害に強い星崎になるとの信念のもと、WSやDIGを始め、地域の人々が誰でも参加できる取組みを行っています。

特に、「ぼうさいフェスティバル」では、町内会の加入の有無に関わらず参加していただいたところ、例年の数倍の参加者を得ることができました。



令和7年度に向けて

令和7年度には、「星崎学区地区防災計画」を策定し、地域の防災まちづくり構想の骨格とし、これまでの取組みの具体化を進めるとともに、引き続き、誰もが気軽に集まり、交流できる場を提供していきます。また、学区という単位からさらに小さな向こう三軒両隣を意識し、町内会、組の単位まで身近な住民との関係構築を高めることで、要配慮者に対するケアの充実強化を図っていきます。さらに、街じゅうを活動の場とすることで、誰でも簡単に活動内容が確認できるよう広報体制の強化を図ります。



明治・内田橋堀川まちづくり協議会

南区：明治学区一円



ふるさとに再びにぎわいと活気を！

活動内容

堀川と新堀川が合流し、熱田神宮や七里の渡しに近いこのまちは、歴史と文化が色濃く残る一方で、少子高齢化や商店街の衰退、護岸の劣化といった課題を抱えています。そこで、親水空間や商店街を活かし、にぎわいと交流のあるウォーカブルなまちづくりを進めるため、令和6年度は「明治・内田橋堀川クリーン活動」、住民アンケート、まちあるきイベント「ブラダバシ」、ビジョンマップ作成委員会の活動を実施しました。



令和7年度に向けて

引き続き、アンケートやまちあるきイベント、ビジョンマップ作成委員会の活動を継続し、より多くの近隣の方々に声をかけることで、まちへの関心を高めていきます。また、集約した意見やイベントの成果をビジョンマップに反映し、それをわかりやすくリーフレットやフリーペーパーやホームページなどを通じて広く住民の皆様に示し、活動の継続的な周知を図ります。さらに、ビジョンマップを住民意見の形で行政関係者とも共有し、堀川を活用したまちづくりへの気運醸成を目指します。



名駅東花車・船入地区まちづくりの会

中村区：名駅五丁目のうち錦通より北側



災害に備えて花が咲く街のルールづくり

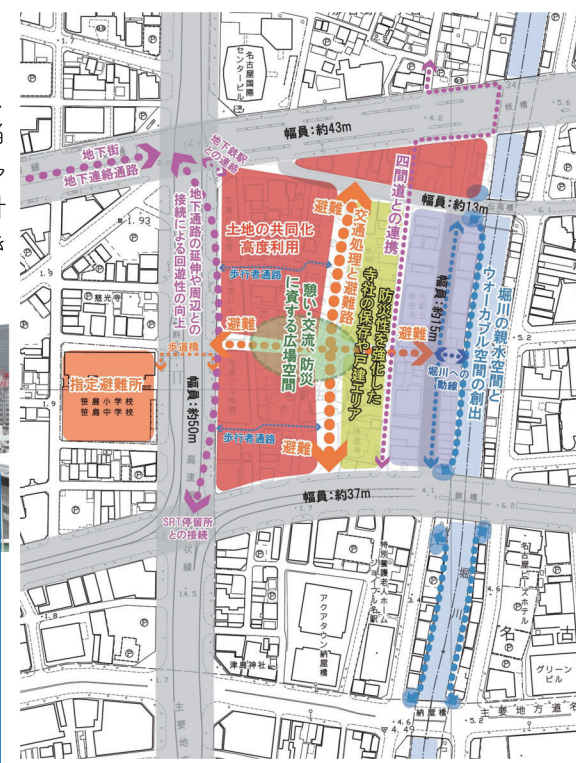
活動内容

令和6年度は、コンサルタントの協力を得て地区計画検討会を4回実施し、専門的な見地からトータルにサポートいただきました。この検討会には、当会の役員にとどまらず様々な関係者に参加いただき、第1回目には多様な意見が交錯していましたが、4回の開催を経て一体感が持てる地区計画の考え方を統合することができ、成果物として『地区計画素案のたたき台』が完成しました。



令和7年度に向けて

令和6年度内1回目の名古屋市長協議においては、「都心における容積率緩和制度の運用方針(令和6年4月)」に則り、原則として都市計画提案を求める」との説明があり、第2回目には、「取組みが事業化され民間開発で実現すれば素晴らしいことであり、とても夢がある。合意形成は大変だが、地道に進めることが重要である。」等の見解が示され、継続した活動の必要性を認識しています。防災と発展を目的とした「地区計画素案のたたき台の考え方」を基に、道路・広場・住環境・商業施設・地域活性化の要素を盛り込みバージョンアップさせた『まちづくり構想』をまとめ、関係者の合意形成を図っていく考えです。



活動成果報告会の様子

毎年3月～翌年度4月の間に開催。活動報告に加え、選考委員・評価員を交えて、団体間で意見交換や交流を行います。

令和6年度初めての試みで、スタートアップ助成と成長支援・実践活動助成の合同で同日開催しました。
制度の異なる2つの助成を受けて活動した団体の活動を知り、また団体同士で交流していただく貴重な機会となりました。

スタートアップ助成



成長支援・実践活動助成



日時：令和7年3月29日（土） 10:00～17:00

内容：第1部 スタートアップ助成成果報告会
ランチ交流会

：第2部 成長支援・実践活動助成成果報告会

スタートアップ助成

スタートアップ助成を受けて活動した全13団体。それぞれ一年間を振り返り、活動初期のスタートアップ助成団体ならではのエピソードや感想、これからの目標などバラエティーに富んだ発表がありました。
3回助成を受けた3団体の皆さんからは、活動初期にいろいろな壁を乗り越えたこと、またその後地域の中で活動がどんどん広がっていった様子などお話しいただきました。どの団体からもまちづくりへの熱意、楽しさが伝わってきました。



3年間の想いを発表される助成3回目の団体の皆さん

途中笑いもある和やかな雰囲気の中、「名古屋都市センターの助成は、考え方や方向性を整理し、課題を解決する原動力になった。この経験を生かしたい!」と力強い決意表明も!

そして、全団体の熱意あふれる発表も終了。その後、質疑応答や委員講評に皆さん真剣に耳を傾けてみえました。

助成期間中には交流会を開催!

スタートアップ助成 交流・座談会

日時：令和6年9月11日（水）
18:00～19:30

内容：活動紹介と座談タイム



あちこちで談笑の輪が! 令和6年度も新しい繋がりや活動のコラボが生まれました。

スタートアップ助成団体の皆さん同士で、活動紹介や、お悩み・相談など、ざっくばらんに語り合い共有する場「交流・座談会」。令和5年度初めて開催し、その後団体間のコラボや協力が生まれました。

令和6年度も内容をさらに充実させ開催。完全フリーの交流時間も大盛況で、「活動の参考になった! 励みにもなりました!」「いろいろ話ができて心強い。つながりがつなかりを呼ぶいい機会です」など多くの声をいただきました。今後もさまざまな企画で、交流の輪をひろげられたらと思います。

選考委員
スタートアップ助成

三矢 勝司 氏
(名古屋学院大学現代社会学部准教授)

小栗 崇嗣 氏
(公益社団法人名古屋青年会議所監事)

野田 浩 氏
(名古屋住宅都市局都市計画部ウォークブル・景観推進課長)

※令和7年3月末時点

三矢 勝司 氏
(名古屋学院大学現代社会学部准教授)

古橋 敬一 氏
(愛知学泉短期大学専任講師)

長谷川 友紀 氏
(コミュニティ・ユース・バンクmomo共同代表)

野田 浩 氏
(名古屋住宅都市局都市計画部ウォークブル・景観推進課長)

成長支援・実践活動助成
評価員

ランチタイム交流会

前半の発表終了後には、スタートアップ助成団体、成長支援・実践活動助成団体全員でこちらも初のランチタイム交流会を実施。団体混ざって6人程度でテーブルを囲み、日頃の活動の悩みや情報交換を積極的に行う姿が見られました。



名刺交換をして「今後つながっていききたい団体ができた」と話す方々があちらこちらに見られ、両助成合同で行った意義を感じる時間となりました。雰囲気がとてもよかったので、急遽昼食の席のまま午後の部へ突入!

成長支援・実践活動助成

ランチタイム終了後は、成長支援・実践活動助成団体全7団体の発表。令和6年度は「構想づくり活動助成」が7団体中5団体と非常に多く、地域の方たちと調整しながら意見をまとめていく難しさや楽しさが臨場感たっぷりに伝わってきます。途中、委員に直接話しかけながら展望を語るなど、各団体熱のこもった報告をしていただきました。



全団体発表後は、団体同士の質疑応答を経て評価員から各団体への講評。今後の活動の指標のひとつとなるであろう、これまでの経緯を踏まえたフィードバックをいただきました。



最後は、両助成の委員を務める三矢委員より会全体の総評。助成制度ごとのアプローチ方法の違いや、スタートアップ助成から成長支援・実践活動助成への移行についてのアドバイスも。団体の皆さんだけでなく、我々名古屋都市センターにとってもこれからの支援のあり方を考えるきっかけになりました。

初めての合同開催ということで至らない点も多くありましたが、それぞれの活動内容を共有することで「こんな活動もあるんだ、参考にしよう!」「今までスタートアップ助成を受けていたけど、成長支援・実践活動助成に申請してみようかな」という思いにつながっていたら嬉しいです。名古屋都市センターは、これからも皆さんの活動を応援しています!